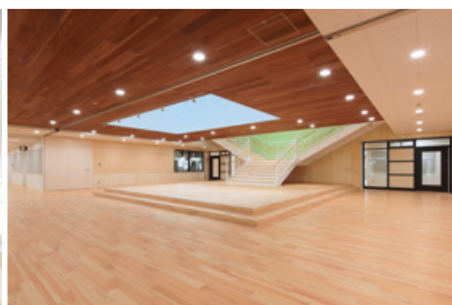


D.REPORT

第104期中間報告書

2019年4月1日から2019年9月30日まで



大建工業株式会社

証券コード 7905

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第104期第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)における当社グループの事業の概況をご報告申し上げます。

代表取締役
社長執行役員 億田 正則



当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要があるものの、雇用・所得環境の改善が続くなか、個人消費は持ち直し、政府の各種政策の効果もあり、景気は緩やかな回復基調となりました。

住宅建設分野におきましては、新設住宅着工は、貸家の減少が継続し低調に推移しているものの、持家及び分譲戸建が増加するなど、消費増税に伴う駆け込み需要の影響が少なからず見られました。一方、公共・商業建築(非住宅建築)分野におきましては、建設業の人手不足が継続しましたが、東京オリンピック・パラリンピック開催に伴う関連工事などの増加もあり、底堅く推移しました。

このような経営環境のもと、当社グループは、2025年を見据えた長期ビジョン『GP25』の実現に向け、2019年度から中期経営計画『GP25 2nd Stage』をスタートさせ、「成長戦略の加速」と「経営基盤の強化」を軸に、事業活動を展開しております。その成長戦略として、海外市場における素材事業の拡大と、国内市場における公共・商業建築分野及び住宅リフォーム市場での事業拡大を推進しております。海外市場では、6月28日に北米のLVLに関する製造会社「CIPA Lumber Co.Ltd.」(以下、CIPA社)及び「PACIFIC WOODTECH CORPORATION」(以下、PWT社)の株式を取得し、子会社化しました。これにより、LVLという新たな“商材”が加わり、世界最大の木造住宅市場である北米市場という“商圏”に進出いたしました。また、住宅リフォーム市場では、7月1日に東京都内を中心に幅広くリフォーム事業を展開する「㈱リフォームキュー」の株式を取得し、子会社化しました。これにより、住宅リフォー

ム市場における工事能力及び工事領域を拡大し、材工受注体制を強化しました。

売上につきましては、上記の取り組みに加え、消費増税を控え好調な需要に対して、TOTO(株)、YKK AP(株)と連携して販売促進策に注力するとともに、製品の安定供給に努めた結果、増収となりました。

利益につきましては、物流コストや原材料価格の上昇に対して、合理化やコストダウン、一部製品の販売価格への転嫁を進めましたが、MDFのアジアを中心とした市況悪化の影響や貸家の着工減の影響等により、利益を圧迫する結果となりました。一方、CIPA社及びPWT社を連結の範囲に含めたことなどにより、営業利益、経常利益については増益となりましたが、特別損失の発生やCIPA社及びPWT社に係る非支配株主に帰属する四半期純利益等により、親会社株主に帰属する四半期純利益については減益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高975億48百万円(前年同期比11.9%増)、営業利益37億90百万円(前年同期比22.9%増)、経常利益41億97百万円(前年同期比14.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益20億87百万円(前年同期比14.7%減)となりました。

今後につきましては、世界の金融資本市場の変動や景気動向の不透明感に加え、消費増税後の国内住宅市場の縮小、原材料コストの上昇や人手不足を起因とする物流費や労務費などの各種コストの高騰に注意が必要であります。

株主の皆様におかれましては、倍旧のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

素材事業

素材事業につきましては、昨年発売した深彫調不燃壁材「グラビオエッジ」の引き合いが増えていることから、5月に設備投資による生産能力の増強を実施しました。また、天井材「ダイロートン」において、学校・文教施設での困り事である室内での音の響きや湿気などの問題を解決する新製品「スクールトーン」を発売し、建物用途別の提案力を強化しました。

売上につきましては、機械抄き和紙を原料とする畳おもて「ダイケン健やかおもて」が拡大するなど好材料もありましたが、MDFはアジアを中心とした海外需要の低迷から販売に苦戦し、「ダイライト」は前年の調達トラブルの影響から売上回復に時間を要するなど、厳しい環境となりました。一方、素材事業全体としては、CIPA社及びPWT社を連結の範囲に含めたことなどにより、増収となりました。

利益につきましては、物流コストや原材料価格の上昇に対して、合理化やコストダウン、一部製品の販売価格への転嫁を進めましたが、MDF市場の競争激化などによって、利益を圧迫する結果となりました。一方、素材事業全体としては、CIPA社及びPWT社を連結の範囲に含めたことなどにより、増益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高363億65百万円(前年同期比20.1%増)、営業利益11億29百万円(前年同期比34.1%増)となりました。



▲ 深彫調不燃壁材「グラビオエッジ」

建材事業

建材事業につきましては、国内住宅市場において、好調な需要に対して生産・物流対応を強化するなど、製品の安定供給に努めました。公共・商業建築分野におきましても、子どもの安全性に配慮した「おもいやりキッズドア」の提案などを進め、幼稚園・保育施設を中心に販売が好調に推移しました。また、同分野において、新たに医療施設用製品カタログを発売し、医療現場の課題を解決する機能建材を提案するなど、建物用途別の提案強化に努めました。

売上につきましては、上記の取り組みなどが、床材やドア、収納製品を中心とした主力製品の販売増につながり、増収となりました。

利益につきましては、売上高の増加に加え、合理化やコストダウン、物流コスト上昇の一部を販売価格へ転嫁するなど、利益の確保に努めた結果、増益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高466億52百万円(前年同期比10.3%増)、営業利益22億26百万円(前年同期比47.1%増)となりました。



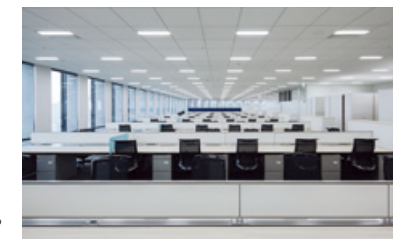
▲ 幼稚園・保育施設用室内ドア「おもいやりキッズドア」

エンジニアリング事業

エンジニアリング事業につきましては、首都圏を中心としたビル・マンションの内装工事需要が好調のなか、工事領域の拡大を進めたことや「㈱リフォームキュー」を連結の範囲に含めたことなどにより、増収となりました。

利益につきましては、上記の新規連結による利益増はあったものの、技能工不足等による人件費や労務費の高騰などにより利益率が低下し、減益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高101億52百万円(前年同期比25.8%増)、営業利益3億29百万円(前年同期比28.2%減)となりました。



▲ ロックワール吸音板「ダイロートン」(中之島フェスティバルタワー・ウエスト)

通期の見直し

通期の連結業績の見直しは、売上高2,020億円(前期比10.4%増)、営業利益87億円(同51.8%増)、経常利益94億円(同37.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益50億円(同13.6%増)を計画しております。

01

鳥取県及び日南町と日南大建(株)の事業開始に係る支援協定を締結 地域との連携強化を図り、地域産業の活性化に貢献

当社は、2019年3月18日に4社合併（大建工業(株)、日南町森林組合、(株)オロチ、越井木材工業(株)）で設立した、LVL（単板積層材）に用いる単板の防霉・防蟻処理などを手掛ける加工会社「日南大建(株)」の事業開始に係る支援協定を、鳥取県及び日南町と締結いたしました。同年5月27日には、鳥取県知事公邸にて協定書の調印式が開かれ、代表者による署名交換が行われました。

日南大建(株)では、今回の支援協定の締結を受け、新工場の設立及び操業が円滑に行われるよう、助成金の交付や固定資産税の免除など、ご支援いただくこととなります。

当社は、日南大建(株)での事業活動を通じて、鳥取県日南町の豊富な森林資源を有効活用し、森林運営の活性化、さらには地域産業の活性化に貢献してまいります。



▲鳥取県知事公邸で開催された協定書調印式
写真左より、中村英明日南町長、松本義勝越井木材工業常務取締役、森英樹オロチ代表取締役社長、平田広志日南町森林組合長、徳田正則大建工業代表取締役社長、平井伸治鳥取県知事

02

リフォーム事業を展開する(株)リフォームキューを子会社化 首都圏のリフォーム工事体制を強化

当社は、2019年7月1日、東京都内を中心にリフォーム事業を展開する(株)リフォームキューの全株を取得し、子会社化いたしました。

住宅リフォーム市場におけるエンジニアリング事業に関しましては、当社100%子会社のダイケンホーム&サービス(株)を通じて、戸建住宅やマンションの一部を修繕・改修する比較的小規模なリフォーム工事を中心に手掛けるとともに、2016年10月には、関東一円でマンションリノベーション事業を手掛ける(株)パックシステムを子会社化し、事業拡大を図ってまいりました。

そして今回、東京都内を中心にマンションや戸建住宅だけでなく、中小ビルまで幅広くリフォーム事業を展開する(株)リフォームキューを子会社化することで、この分野においてさらなる事業拡大を図ってまいります。



▲(株)リフォームキューの施工事例

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産	91,553	87,358
固定資産	68,528	87,861
有形固定資産	41,321	51,853
無形固定資産	6,375	16,308
投資その他の資産	20,831	19,698
繰延資産	75	112
資産合計	160,158	175,332
負債の部		
流動負債	71,938	72,197
固定負債	26,478	39,568
負債合計	98,416	111,765
純資産の部		
株主資本	53,460	54,609
その他の包括利益累計額	5,444	2,744
非支配株主持分	2,837	6,212
純資産合計	61,741	63,566
負債純資産合計	160,158	175,332

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期連結累計期間 (2018年4月1日から 2018年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)
売上高	87,203	97,548
売上原価	65,598	73,258
売上総利益	21,604	24,289
販売費及び一般管理費	18,521	20,499
営業利益	3,083	3,790
営業外収益	775	708
営業外費用	198	301
経常利益	3,660	4,197
特別利益	27	124
特別損失	108	557
税金等調整前四半期純利益	3,579	3,764
法人税等合計	1,042	1,223
四半期純利益	2,537	2,541
非支配株主に帰属する四半期純利益	91	453
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,446	2,087

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期連結累計期間 (2018年4月1日から 2018年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,990	7,435
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,340	△15,612
財務活動によるキャッシュ・フロー	10,990	5,490
現金及び現金同等物に係る換算差額	△22	△222
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,617	△2,909
現金及び現金同等物の期首残高	10,767	16,865
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,385	13,955

会社の概要

(2019年9月30日現在)

設立年月日 1945年9月26日
 資本金 153億円
 本社及び事業所
 本店 富山県南砺市井波1番地1
 本社大阪事務所 大阪市北区中之島三丁目2番4号
 東京事務所 東京都千代田区外神田三丁目12番8号
 主要な営業所 札幌、仙台、東京、さいたま、金沢、新潟、名古屋、大阪、広島、高松、福岡、シンガポール
 生産工場 三重工場（三重県津市）
 井波工場（富山県南砺市）
 岡山工場（岡山市南区）
 高萩工場（茨城県高萩市）
 子会社 株式会社ダイフィット（鳥取県倉吉市）
 株式会社ダイウッド（三重県伊賀市）
 セトウチ化工株式会社（岡山市南区）
 富山住機株式会社（富山県砺波市）
 大建工業(寧波)有限公司（中国 浙江省）
 大建阿美呢体(上海)商貿有限公司（中国 上海市）
 PT.DAIKEN DHARMA INDONESIA（インドネシア 東ジャワ州）
 株式会社ダイタック（岡山市南区）
 会津大建加工株式会社（福島県会津若松市）
 DAIKEN NEW ZEALAND LIMITED（ニュージーランド ランギオラ）
 DAIKEN SOUTHLAND LIMITED（ニュージーランド ゴア市マタウラ）
 DAIKEN SARAWAK SDN.BHD.（マレーシア サラワク州）
 DAIKEN MIRI SDN.BHD.（マレーシア サラワク州）
 日南大建株式会社（鳥取県日野郡日南町）
 CIPA Lumber Co.Ltd.（カナダ ブリティッシュコロンビア州デルタ市）
 PACIFIC WOODTECH CORPORATION（米国 ワシントン州パルinton市）
 C&H株式会社（大阪府岸和田市）
 エコテック株式会社（東京都千代田区）
 ダイケンエンジニアリング株式会社（大阪市北区）
 鉦工業株式会社（東京都千代田区）
 三恵株式会社（大阪府東大阪市）
 ダイケンホーム&サービス株式会社（大阪市北区）
 株式会社スマイルアップ（大阪市北区）
 株式会社リフォームキュー（東京都品川区）
 株式会社パックシステム（東京都品川区）

役員

(2019年9月30日現在)

取締役	
代表取締役	億田 正 則
代表取締役	相原 隆
代表取締役	加藤 智 明
取締役	播磨 哲 男
取締役	関野 博 司
社外取締役	水野 浩 児
社外取締役	古部 清
監査役	
常勤監査役	照林 尚 志
常勤監査役	冬木 敏 夫
社外監査役	勝尾 裕 子
社外監査役	石崎 信 吾
執行役員	
社長執行役員	億田 正 則
専務執行役員	相原 隆
専務執行役員	加藤 智 明
専務執行役員	播磨 哲 男
上席執行役員	吉田 和 雅
上席執行役員	野村 孝 伸
上席執行役員	早瀬 敏 幸
上席執行役員	飯沼 友 明
上席執行役員	永田 武 英
上席執行役員	伊藤 雅 英
執行役員	松川 保 保
執行役員	東出 雅 彦
執行役員	伊勢田 正 児
執行役員	内海 健 一
執行役員	西脇 賢 治
執行役員	金田 正 樹
執行役員	山崎 正 弘
執行役員	郷原 秀 樹
執行役員	森野 勝 久
執行役員	遠藤 稔

株式の状況

(2019年9月30日現在)

発行可能株式総数 79,643,600株
 発行済株式の総数 27,080,043株
 株主数 3,929名

大株主の状況

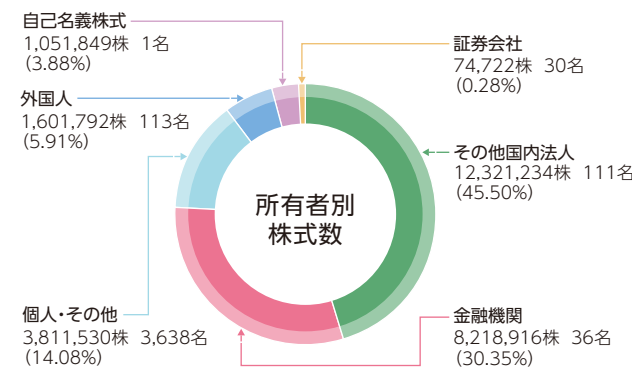
(2019年9月30日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
伊藤忠商事株式会社	9,103,100	35.0
株式会社三井住友銀行	986,980	3.8
住友生命保険相互会社	931,200	3.6
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	900,400	3.5
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	835,100	3.2
大建工業取引先持株会	798,700	3.1
三井住友信託銀行株式会社	688,000	2.6
住友林業株式会社	638,200	2.5
丸紅株式会社	564,388	2.2
日本生命保険相互会社	545,669	2.1

(注) 1. 当社は、自己株式を1,051,849株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
 2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式分布状況

(2019年9月30日現在)



当社のホームページでも
 詳しい情報を開示しております。

<https://www.daiken.jp/>

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所 (郵便物送付先)	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
(インターネットホームページURL)	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記の電話照会先までご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます）を開いたしてあります。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告の方法 電子公告（当社のホームページに掲載する）
<<https://www.daiken.jp/>>

上場金融商品取引所 東京証券取引所

表紙写真について



① 内装建材の新製品「ハピア ソリッド調 リビングドア」<コンクリートグレー>



② インテリア畳の新製品「こち和座 彩園 煌（きらめき）」



③ システム収納「フィットシェルフ」と特殊加工化粧シート床材「トリニティ」



④ 文教施設に採用された土足対応WPC床材「コミュニケーションタフDW」<宮崎県産杉>

⑤ システム収納「ミセル」のリビング学習プラン

キノウを超える、ミライへ。

DAIKEN

UD FONT